

# 第4次十和田市食育・地産地消推進計画（概要）

計画の趣旨

食育基本法第18条第1項に基づく市町村食育推進計画として、平成20年3月に「十和田市食育推進計画」を策定しました。その後、平成23年3月に、地域資源を活用した農林漁業者等による新事業の創出等及び地域の農林水産物の利用促進に関する法律が施行されたことから、同法第41条第1項に基づく地域の農林水産物の利用の促進についての計画と一体的に作成を行い、平成25年3月に「第2次十和田市食育・地産地消推進計画」、平成30年3月に「第3次十和田市食育・地産地消推進計画」を策定し、各関係機関がそれぞれ食育・地産地消推進に取り組んできました。



令和5年度末で計画期間が満了となることから、計画の評価・見直しを行い、さらなる食育・地産地消の推進を図ることを目的に、第4次計画を策定します。

なお、第4次計画の計画期間は令和6年度から令和11年度までの6か年計画とします。

## 【現状】

食育について、乳幼児期の間食の摂取頻度や小中学生の家族そろって食事をする割合の改善がみられたものの、学齢期や成人の肥満割合が悪化しています。

地産地消について、市民の認知度は高まってきています。また、学校給食での市産等食材の使用割合も増加しています。

食育・地産地消の現状及び課題

主な指標	平成29年度 現状値	令和5年度 目標値	現状値	評価
甘味食品飲料を頻回に摂取する習慣のある幼児の減少				
1歳6か月児	35.9%	10.0%	11.2%	B
3歳6か月児	38.2%	8.0%	17.8%	B
朝食摂取率				
小学生	83.4%	100%	84.2%※	C
中学生	81.1%	100%	75.3%※	D
肥満傾向児の出現率				
小学生男子(1～3学年)	10.1%	8.0%	11.3%	D
小学生男子(4～6学年)	14.8%	8.0%	18.3%	D
小学生女子(1～3学年)	9.6%	8.0%	13.0%	D
小学生女子(4～6学年)	13.6%	8.0%	14.6%	D
中学生男子	12.7%	8.0%	16.3%	D
中学生女子	11.3%	8.0%	13.5%	D
家族そろって食事をする割合				
小学生:1日1回以上	62.0%	80.0%	67.6%※	B
中学生:1日1回以上	64.7%	80.0%	72.4%※	B
成人の肥満者の割合(40～60歳代)	28.6%	20.0%	33.0%	D
栄養バランスを心がけて食生活を送っている人の割合	81.6%	85.0%	78.7%	D
「地産地消」を言葉の意味を含め知っている人の割合	78.1%	80.0%	80.7%	A
学校給食での市産食材の使用割合	7.6%	12.0%	13.7%	A

現状値について、※は令和5年度データ、それ以外は令和4年度データ

## 【課題】

食育について、各ライフステージの市民が将来の生活習慣病予防のために食育に関心を持ち、1日3食を基本に栄養バランスに配慮した食事を実践するよう、健康教育や情報提供による働きかけの継続が必要です。

地産地消について、今後も市民が積極的に市産食材等の地元産食材を使用するよう、PRの効果的な手法の展開や農業体験の継続により地産地消の実践を促すことが必要です。

目指す姿

基本方向

重点推進事項

評価指標

健康で活力に満ちた『くらし』と持続可能な『食』の実現

食育編

ライフステージに対応した食育の推進

(1) 子育て家庭における食育

(2) 学齢期の食育

(3) 働き盛り世代からの食育

指標	現状値	目標値
間食を与える時間を決めて いる幼児の割合 1歳6か月児 3歳6か月児	87.8% 80.1%	90.0% 85.0%
甘味食品飲料を頻回に摂取 する習慣のある幼児の割合 1歳6か月児 3歳6か月児	11.2% 17.8%	10.0% 15.0%
朝食摂取率 小学生 中学生	85.7% 81.2%	90.0% 85.0%
肥満傾向児の出現率 小学生男子 小学生女子 中学生男子 中学生女子	14.8% 13.8% 16.3% 13.5%	10.0% 10.0% 10.0% 10.0%
成人の朝食摂取率	76.8%	85.0%
適正体重を維持している者 の割合(40~60歳代)	60.3%	66.0%
食育に関心を持っている市 民の割合	78.0%	85.0%
栄養バランスを心がけて食 生活を送っている人の割合	78.7%	85.0%

地産地消編

安全・安心な食環境づくりと地産地消の推進

(1) 地産地消についての  
理解の促進

(2) 生産者と消費者の  
相互理解を深めるための  
交流活動の実施

(3) 環境に配慮した  
安全・安心な農業生産と  
6次産業化の推進

(4) 市産食材を活かした  
特色ある加工品や  
メニューの開発

(5) とわだ製品の購入環境の  
整備

(6) とわだ製品のPR活動

(7) 関係機関の連携の構築

指標	現状値	目標値
「地産地消」の意味を知っ ている人の割合	80.7%	82.0%
市産の農産物を意識して購 入している人の割合	37.1%	41.0%
学校給食での市産食材の使用 割合	13.7%	14.0%
学校給食での県産食材の使用 割合	64.9%	68.6%
グリーン・ツーリズムなどで の農業体験の受け入れ者数	279人	400人